

令和5年度 有田市立文成中学校(学校経営方針)スクールプラン

有田市学校教育の方針と重点

- 認め合い、学び合い、郷土を愛する子供の育成を図る ～小中連携を通して～
- ・一人一人を生かし、学び続ける力を育てる。
 - ・人とのふれあいを通して、豊かな心を育てる。
 - ・たくましく健やかな体を育てる。
 - ・自然や文化とのふれあいを深め、郷土に対する誇りや愛情を育む。

保護者・地域の願い

- 学力をつけてやって欲しい。
- 生徒一人一人が明るく楽しい学校生活を送れるようにして欲しい。
- 学校のことがよくわかるようにして欲しい。

【学校教育目標】 学び 育つ

【めざす生徒像】

- ・心身ともに健康で、逞しく、生活力がある生徒。
- ・真理を求め、粘り強く意欲的に学習する生徒。
- ・豊かな心情をもち、互いにいたわり合い、励まし合える生徒。
- ・よりよい生き方を求め、思考し、表現できる生徒。
- ・勤労を愛し、自主的に行動できる生徒。
- ・ふるさとに誇りと愛情をもち、家族や先人に感謝の心をもつ生徒。

前年度の学校評価

- ・各種学力調査では平均点を上回っており、学力は向上してきている。しかし、体力面での課題が多く、体力の向上を図る必要がある。
- ・家庭学習の充実がある。
- ・基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん、ゲーム・SNS等長時間利用）に課題がある。

生徒の実態

- 落ち着いた姿勢で学習に臨むことができる。
- 学校行事や生徒会活動、部活動にも真面目な態度で取り組む。
- 受け身の生徒が多く、自主的・主体的に考え行動する逞しさに欠ける。

重点目標

確かな学力の向上

- 自分の考えを表現する実践を通したわかる授業の創造と学習意欲の向上
- ◎個別最適な学びと協働的な学びの実践
- 家庭学習の充実を目指した取組の推進

具体的な取組

- 自分の考えを整理することで交流が深まり、主体的、対話的で深い学びの実現を目指す。また、これらの実現のために基礎基本の習得・定着を図る。
- タブレットの効果的な活用を図る。
- 自主学習ノートを中心としながら家庭学習の充実を図る。

指標

- ・「授業アンケート」で「わかった、できたという達成感、満足感がある」の項目を選択する生徒を増やす。
- ・県学力調査で考えを記述で答える問題の正答率が10%上がる。

豊かな心の育成

- ◎道徳、人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- 生徒会活動の活発化
- 一人一人が大切にされる学級活動

- ◎道徳授業、教科授業、体験活動、学校行事などあらゆる場面に道徳性を高める機会があることを意識して取り組む。
- ◎生活・いじめアンケートを定期的実施し、いじめ問題について早期発見に努める。
- 生徒会活動を活発にし、よりよい学校生活づくりに参画させ、責任感と自治能力を育成する。

- ・Q Uで生徒の「満足度」が上がる。
- ・生徒アンケートで学校生活、行事への取組、いじめ防止についての項目で肯定的な回答90%以上を達成する。

健やかな心身の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的な生活習慣の確立

- ◎授業や部活動等において、運動についての正しい認識を育むとともに、体力の向上を図る。
- ◎家庭との協力のもと、「早寝、早起き、朝御飯」「ゲーム、SNS等の使用時間を減らす」取組を進める。

- ・体力運動能力調査における判定結果を昨年度より引き上げる。
- ・生徒アンケートで早寝・早起・朝ごはんの実施率を100%に近づける。
- ・TV、ゲーム、SNSを2時間以上使用している生徒を減らす。

地域とともにある学校

- ◎学校運営協議会との積極的な協働
- ◎中学校区における学校間連携の推進
- 地域、家庭への積極的な情報発信

- ◎学校運営協議会を中心に地域の関係機関との連携を深めるとともに、地域行事に積極的な参加を推奨する。
- 学校開放月間、諸行事、授業参観等の機会を通じて積極的に学校を公開する。
- 学校通信、学級通信等、各種通信により情報発信に努める。

- ・地域行事(溝掃除、芋茶粥、秋祭り等)への生徒の積極的参加。
- ・年1回以上小学校の授業を参観する。
- ・HPの新着情報を毎月更新。
- ・各種通信を月1回以上発行。

◎：特に重点的に取り組むこと

中学校統合に向けての取組の柱 ① 現3中学校の生徒が円滑に統合できるよう、取組を実践する。

② 特に3年生については、文成中学生として誇りを持って卒業していけるよう、取組を実践する。